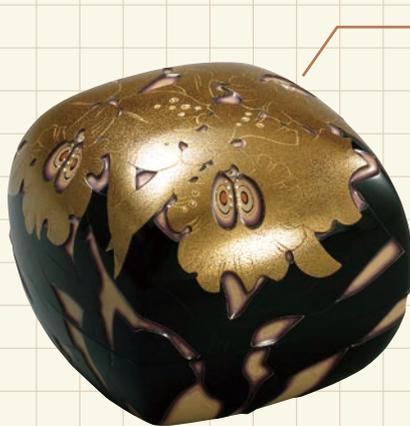


うるしの あ・い・う

—漆芸技法の百科事典—

2020年 2月29日(土)—5月11日(月) 会期中無休



彫漆



螺鈿



か
ka
加
飾



平文



蒔絵

螺鈿

主催・会場 石川県輪島漆芸美術館
開館時間 9時～17時（入館は16時30分まで）
入館料 一般 630円（520円）
高大学生 320円（210円）
小中学生 150円（100円）
*（ ）内は20名以上の団体料金
同時開催 「輪島塗の歴史と文化」

（写真左上から）音丸耕堂 彫漆カトレヤ菓子器 1990年

中野孝一 栗蒔絵平棗 2000年頃

大場松魚 平文花の虹箱 1991年

いずれも石川県輪島漆芸美術館蔵



うるしのあ・い・う

漆芸技法の百科事典

2020年 2月29日(土) - 5月11日(月) 会期中無休

主催 石川県輪島漆芸美術館
 開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)
 入館料 一般 630円(520円)
 高大学生 320円(210円)
 中学生 150円(100円)
 * () 内は20名以上の団体料金
 同時開催 「輪島塗の歴史と文化」

漆

芸技法は、数えきれないほどの道具や材料、専門技術など、多種多様の要素によって支えられています。本展覧会では、その中でも器物の表面に模様を付ける加飾技法に焦点を当て、沈金、蒔絵、彫漆などの技法の違いを、作品だけではなく材料や道具など、加飾のために必要となる様々な資料と併せてご紹介いたします。奥深い漆芸技法の数々を、百科事典を紐解くようにお楽しみいただければ幸いです。

ら 卵殻 (らんかく)

鶉か鶏の卵の殻を模様の部分に使います。



き 蒔醬 (きんま)

剣と呼ばれる彫刻刀で漆塗面を彫り、彩漆をき出し、文様を表現します。



ち 沈金 (ちんきん)

漆塗面に沈金ノミと呼ばれる刃物で文様を彫り、漆を擦り込んで、金銀箔・あるいは顔料を埋め込む装飾方法です。



◆関連イベント

沈金技法を体験しよう!

開催日 会期中の毎週水曜日

9時～12時 13時～16時

* 受付は各30分前まで

① 沈金スプーン色付体験(1700円)

② 沈金箸色付体験(1500円)

* 詳細は当館HPでご確認ください。

し 資料 (しりょう)

置目、下図、道具等、加飾に欠かせない資料を作品と共に展示します。



(作品上から) 寺井直次 金胎蒔絵水指「水辺」1990年 / 磯井正美 蒔醬道のべ箱 1989年 / 伊藤起鳳 山水沈金色紙笺 1977年 / 藤井観文資料一式 20世紀いずれも石川県輪島漆芸美術館蔵

WAJIMA MUSEUM OF URUSHI ART 石川県輪島漆芸美術館

〒928-0063 石川県輪島市水守町四十筋11番地
 TEL 0768-22-9788 FAX 0768-22-9789
 URL <https://www.city.wajima.ishikawa.jp/art/>

■交通案内 飛行機: 羽田空港(約60分) → のと里山空港(車=約20分) → 漆芸美術館
 車: 金沢市内(のと里山海道利用=約100分) → 漆芸美術館
 (自家用車・大型バス駐車場有(無料))

バス: 金沢駅-北鉄奥能登バス輪島特急(約120分) → 道の駅・輪島ふらっと訪夢「輪島駅前」下車
 乗換え-のらんげバス 海コース(約10分) → 漆芸美術館下車
 徒歩: 道の駅・輪島ふらっと訪夢「輪島駅前」(約15分) → 漆芸美術館

次回展覧会
 「漆芸の未来を拓く - 生新の時 2020 -」
 5月16日(土) ~ 7月6日(月)



本券1枚につき8名様まで
 団体料金で入館できます。
割引券